

家庭と教育と福祉の連携推進のための シンポジウム

徳島県の実践紹介

家族を支える具体的な仕組み

～障害児・者と

家族・保護者等に対する支援の実際～



令和3年度「特別支援教育担当教員の資質向上に向けた人材育成プロジェクト」の取組内容

徳島県のテーマ

「家族を支える具体的な仕組み」の構築

①福祉との合同研修のあり方

- 保健, 福祉部局と連携・協働した人材育成研修会の開催
→**地域支えあい隊を通じた実践**
- 研修コアカリの「C: 家族支援」の具体化・実践



②研修形態のあり方の検討

- Withコロナ時代を踏まえた研修のオンライン化
- 研修コアカリの「B: 指導・支援」の内容の一部を動画化
- 地域支えあい隊や職務研修での活用



福祉との合同研修のあり方①

人材育成に関する合同研修のねらい



福祉との合同研修のあり方②

人材育成に関する合同研修のねらい

【実現手段】→地域支えあい隊プロジェクト

研修コアカリキュラムをベースとした取組を展開

C 家族支援 -早期発見・早期支援 -家族・保護者支援	地域支えあい隊プロジェクト -基礎講座・体験講座 チャレンジ講座・ステップアップ講座
B 指導・支援 -二次障害の理解と基本的対応	

- 早期発見・早期支援の重要性や徳島県内の取組について理解することができる。
- 家族・保護者支援の重要性や徳島県内の取組について理解することができる。
 - 家族・保護者のメンタルヘルスや障害受容、ペアレントトレーニングなどの実際の取組について理解する。
- 二次障害の背景について理解することができる。

地域支えあい隊プロジェクト

【実現手段】→地域支えあい隊プロジェクト

①福祉との合同研修のあり方

- 保健、福祉部局と連携・協働した人材育成研修会の開催
- 研修コアカリの「C:家族支援」の具体化・実践



ステップアップ講座

定員 各30名

会場での受講（講師はリモート）を、Zoomによる受講も選択いただけます。

- 1 早期発見を早期支援につなげるために**（障がい児者と家族・保護者等に対する支援の実践①）
9月5日(日) 13:00~15:00
- 2 発達障がいにおける併存障がいの理解と対応**
9月25日(土) 13:00~15:00
- 3 家族を支える具体的な仕組み**（障がい児者と家族・保護者等に対する支援の実践②）
10月24日(日) 13:00~16:00

各回とも別内容です。
(シリーズ研修)

ステップアップ講座は修了者の方の申込みも歓迎します。

講師 ①・② 橋門教育大学 准教授 小島 正義 氏、徳島県立発達障がい者総合支援センター職員
③ 医療法人むつみホスピタル 診療部長 中村 公枝 氏
場所 徳島県立総合教育センター（坂野郡坂野町大伏字東谷1-7）

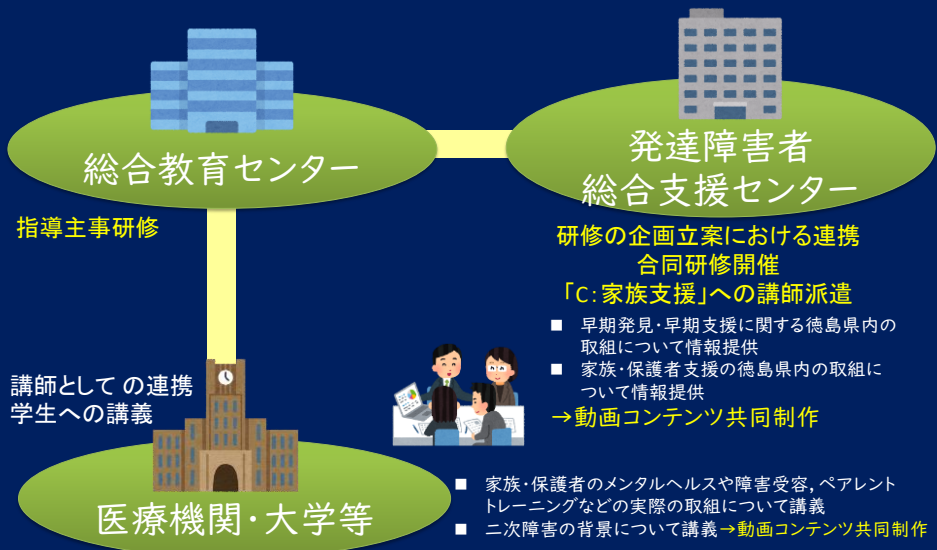
発達障がい者等パートナー養成講座

地域支えあい隊プロジェクト

開催時期	定員 各20名	開催時期	定員 各15名
発達障がい等の理解について 9月5日(日) 9:30~11:30		カフェ体験 10月14日(木)	
9月14日(火) 9:30~11:30		10:30~12:30	
9月21日(水) 9:30~11:30		10月28日(木)	
		10:30~12:30	

開催時期	定員 各20名	開催時期	定員 各30名
1 発達障がい体験ワークショップ 10月23日(土) 10:00~12:00		2 発達障がい教育講座 11月6日(土) 13:30~15:40	
2 発達障がいにおける併存障がいの理解と対応 9月5日(日) 13:00~15:00		3 子どもの行動が変わる！ 10月24日(日) 13:00~16:00	
3 家族を支える具体的な仕組み 10月24日(日) 13:00~16:00			

福祉・医療機関等との連携



家族支援分野の研修会開催まで

研修の企画立案における連携 合同研修開催 「C:家族支援」への講師派遣



徳島県における
発達障害児・者の
家族支援の拠点

- 早期発見・早期支援に関する徳島県内の取組について情報提供
 - 家族・保護者支援の徳島県内の取組について情報提供
- 動画コンテンツの共同制作

家族支援分野の研修会開催まで

発達障害者総合支援センターとの打ち合わせ→ 研修コアカリキュラムを提示

<p>【C 家族支援】</p> <p>1. 早期発見・早期支援 (共通)</p> <p>発達障害のある子どもへの早期からの支援の充実および保護者への支援を充実させる視点から、早期の気づきと早期支援の重要性について理解する。また、発達障害の疑いがある場合に、その保護者に対して適切な支援や情報提供を行うために必要な知識を学ぶ。</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期発見・早期支援の意義 ・ 乳幼児健診におけるスクリーニング ・ 早期の相談と対応 ・ 自治体による発達支援 <p><研修講座名(例)></p> <p>「発達障害の早期発見と早期支援」(講義・演習 90分)</p> <p>○発達障害支援における早期発見・早期支援の重要性(講義 45分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳6ヶ月児健診や3歳児健診におけるスクリーニングの意義、発達障害特有のアセスメントツールについて解説する。 ・ 発達障害の疑いがある場合に、その保護者に対して適切な支援や情報提供を行うために必要な知識や姿勢について解説する。 <p>○母子保健医療分野で推進されている対策等の概要と重要性について解説する(子育て世代包括支援センターや子どもの心の診療ネットワーク事業、健やか親子21(第二次)など)。</p> <p>○地域における発達支援体制の充実(演習 45分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における社会資源の役割等(障害福祉分野のみに限定せず)について理解を促し、発見から支援につながる仕組みの充実に向けて必要な取組について、意見交換を通して考える場を設ける。 ・ 妊産婦からの支援や情報の共有化など、地域における切れ目のない支援の実現のために必要な取組について、意見交換を通して考える場を設ける。
--

動画に入れてほしい
ポイントの話し合い
にもコアカリキュラム
を用いた




- スライドを作成し、校正
- 総合教育センターで動画を収録



完成した講義動画

発達障害者総合支援センターとの共同制作

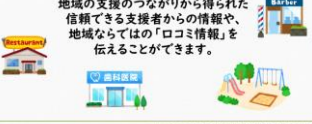
徳島県における
ペアレント・メンター事業について



徳島県発達障害者総合支援センター

～ペアレント・メンターができること②～

地域の支援のつながりから得られた信頼できる支援者からの情報や、地域ならではの「口コミ情報」を伝えることができます。



◆ペアレント・メンター養成研修について

ペアレント・メンター養成研修を修了し、ペアレント・メンター活動を開始したいという方々により、平成25年4月「徳島ペアレント・メンター協会」が発足。

「徳島ペアレント・メンター協会」
ペアレント・メンター登録者数 25名

徳島県発達障害者総合支援センターでは、徳島ペアレント・メンター協会の活動をバックアップしています。

①ペアレント・メンターによるグループ相談会

あん・だん・て


- 発達に気がなっている小学6年生までの保護者を対象
- 年6回、県内各地で開催

※3名のメンターから、子育ての経験談をもとにいろいろな情報提供をしています※

よくある質問
Q: 数学先をどのように決めたのか？
Q: 中学校生活はどうだったのか？
Q: 計画にどのように伝えたのか？
Q: 本人に障がいのことをいつ、どのように伝えたのか？
Q: 医療機関の受診や診断はどうしたのか？ など

完成した講義動画

徳島県における
早期発見体制支援事業について



徳島県発達障害者総合支援センター

徳島県における早期発見体制支援事業
～目的と内容～


- 発達障がい児を早期発見し適切な支援を行うために、関係者の知識及び対応スキルの向上を図るとともに、関係機関と連携した支援体制を図る。
- 幼児健診においてアセスメントツールの普及を図るとともに、社会性の発達についての知識や視点を広げる。

➡ 研修会の実施

➡ 保健センターでの学習会の実施

ASDの早期発見にどういったメリットがあるか？

- 早期発見から早期支援につながります
- 多くのニーズのある子どもたちへの支援につながります



ASD児とその家族への早期支援に期待できること
早期支援

子どもの成長

子どもの発達

子どもの生活

子どもの将来

子どもの健康

子どもの学習

子どもの社会性

子どものコミュニケーション

子どもの感情

子どもの行動

子どもの認知

子どもの知覚

子どもの感覚

子どもの運動

子どもの言語

子どもの社会

子どもの文化

子どもの芸術

子どもの科学

子どもの技術

子どもの産業

子どもの労働

子どもの生活

子どもの健康

子どもの安全

子どもの福祉

子どもの権利

子どもの自由

子どもの平等

子どもの正義

子どもの誠実

子どもの責任

子どもの誇り

子どもの尊厳

子どもの名誉

子どもの信用

子どもの誠実

子どもの責任

子どもの誇り

子どもの尊厳

子どもの名誉

子どもの信用

ハナミズキ・アイリスへの相談について

- 原則は当事者のニーズに基づいて支援する（障がいの疑いでもOK）
- 関係機関からの相談も可能
- 完全予約制 ※費用はかかりません
- 「診断」は小児科・精神科医療機関で行う

ハナミズキ・アイリスは「障がいかどうか」を判断（診断）する機関ではなく、「困っていること」をどうやって見立てるか／解決していくかを、一緒に考える機関です。課題解決のためには、本人・保護者を支える地域の方（学校や行政等）のサポートが重要です。

この動画を講座で活用 → 職務研修でも活用

（特別支援教育コーディネーター研修会等）

福祉・医療機関等との連携

総合教育センター

研修の企画立案における連携
合同研修開催

「B:指導・支援」「C:家族支援」への講師派遣

- 家族・保護者のメンタルヘルスや障害受容,ペアレントトレーニングなどの実際の取組について講義
- 二次障害の背景について講義
→動画コンテンツ共同制作

医療機関・大学等

発達臨床センター

- 地域における発達支援の実践研究の推進
- 発達の多様性に応じるための教員の専門性の向上

**本プロジェクトをきっかけ
に相互連携を強化**

地域支えあい隊プロジェクト

ステップアップ講座の様子

一人一人、一家族一家族異なる

- 家族構成はさまざま
ー 父・母、きょうだい、祖父母、親戚…
- 家族一人一人がいろいろな思い、ニーズを持って生きている



発達臨床センターとの連携



特別支援教育担当教員の専門性向上でも連携を深める

地域支えあい隊プロジェクト

②研修形態のあり方の検討

- Withコロナ時代を踏まえた研修のオンライン化
- 研修コアカリの「B:指導・支援」の内容の一部を動画化
- 地域支えあい隊や職務研修での活用



「働き方改革」の流れ

新型コロナウイルス感染症の猛威



【引用】NHK webサイトより



オンライン化を進める

地域支えあい隊プロジェクト

発達障がい者等ハートナー養成講座

地域支えあい隊プロジェクト

※下記の内容は、要約して紹介しています。お申し込みの研修会も研修会の要約で掲載をいたします。

基礎講座 定員 各20名	体験講座 定員 各15名
<p>発達障がい等の理解について</p> <p>9月5日(日) 9:30~11:30 9月14日(火) 9:30~11:30</p> <p>講師 徳島県立総合教育センター 特別支援-相談課 指導主事 場所 徳島県立総合教育センター (坂野郡坂野町大伏字東1-7)</p>	<p>カフェ体験</p> <p>10月14日(木) 10:30~12:30 10月28日(木) 10:30~12:30</p> <p>講師 徳島県立総合教育センター 特別支援-相談課 指導主事 場所 徳島県立地田支那学校 美馬分校 (美馬市美馬町字大高西100-4)</p>
<p>1 発達障がい体験ワークショップ</p> <p>10月23日(土) 10:00~12:00</p> <p>講師 徳島県立総合教育センター 特別支援-相談課 指導主事 場所 徳島県立総合教育センター (坂野郡坂野町大伏字東1-7)</p>	<p>2 発達障がい教育講演会</p> <p>11月6日(土) 13:30~15:40</p> <p>講師 子どもの行動が変わる! ～学校や家庭でできる認知行動療法～ 講師 三善大学 教育学部 教授 松浦 達也 氏 場所 徳島県立総合教育センター (坂野郡坂野町大伏字東1-7)</p>
<p>ステップアップ講座 定員 各30名</p> <p style="font-size: x-small;">※各回での研修(課題は1回1回)は、Zoomによる受講が原則となります。</p>	
<p>1 早期発見を早期支援につなげるために(障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実践①)</p> <p>9月5日(日) 13:00~15:00</p>	
<p>2 発達障がいにおける併存障がいの理解と対応</p> <p>9月25日(土) 13:00~15:00</p>	
<p>3 家族を支える具体的な仕組み(障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実践②)</p> <p>10月24日(日) 13:00~16:00</p>	
<p>講師 1-1 徳島大学 准教授 小倉 正純 氏、徳島県立発達障がい支援センター 職員 1-2 医療法人むつみスビビル 診療部長 中村 公雄 氏 場所 徳島県立総合教育センター(坂野郡坂野町大伏字東1-7)</p>	

〈募集時8月〉
会場での受講とZoomアプリによる受講の両方を保障

→徳島県の感染状況悪化

〈講座開始時9月~11月〉
ほとんどの内容をオンライン化
中止した講座はなし
→感染状況に左右されず

地域支えあい隊プロジェクト

トラウマ関連症状の子ども特有の現れ方

子どものストレス反応は身体症状や行動にあらわれやすい

身体化

・ 親と離れることを極度に恐れる(分離不安)

・ それまで身につけた知識や技術を忘れる

・ 内容のはっきりしない悪夢や睡眠障害を訴える

・ トラウマとは直接関係しないものへ新しい恐怖心が生じる

・ しぐさや会話、遊びや絵などでトラウマを表現する

・ 原因不明の体の痛みや苦痛(心の痛み)を訴える

・ イライラしたり、攻撃的になる

行動化

言語化

自分の心の状態を言葉で十分に理解したり説明したりできない

親にゆとりがない

図1 家族類型別世帯数の推移

- ・ 共働き増加
- ・ 離婚増加
- ・ 核家族化

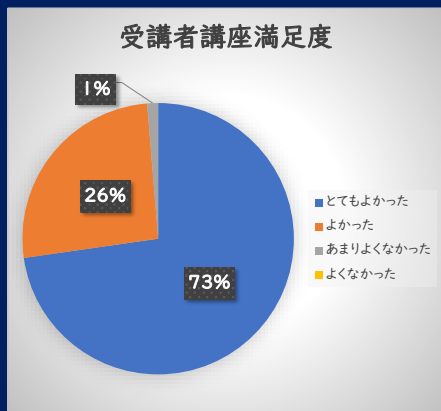
→親が話を聞く時間がない、心の余裕がない

医療機関との連携
医療従事者への配慮
→「B:指導・支援」の研修講座 動画制作につながる

地域支えあい隊プロジェクト 受講者アンケートの結果から

令和3年度地域支えあい隊プロジェクト参加者(のべ 85名) 回収=77人
基礎講座(8名) 体験講座(18名) チャレンジ講座(24名) ステップアップ講座(35名)
発達障害教育講演会(245名) *発達障害者総合支援センターとの共催

受講者満足度



受講者の声

精神障害は他の病気と同じで早期発見することで、治癒したり長年にわたり患うことをストップさせることが出来ることを知ることができました。(40代・福祉施設職員)

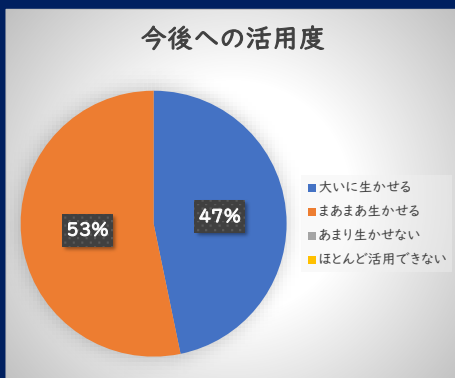
ペアトレ、名称は知っていたが、聞いたことがある程度だったので、今回の講座で具体的にどんな感じで行われているのか、実例も踏まえとても良く分かった。(40代・福祉機関職員)

ペアレント・メンターを知り、福祉や教育機関以外にも地域で設定された相談会があることや、メンターが保護者にとってより身近に感じることのできる相談相手であることを知りました。(50代・放課後学童保育支援員)

地域支えあい隊プロジェクト 受講者アンケートの結果から

令和3年度地域支えあい隊プロジェクト参加者(のべ 85名) 回収=77人
基礎講座(8名) 体験講座(18名) チャレンジ講座(24名) ステップアップ講座(35名)
発達障害教育講演会(245名) *発達障害者総合支援センターとの共催

今後への活用度



受講者の声

オンラインの研修であったが、意見交換がたくさん設定されていて、他の受講者の声をたくさん聞けてよかった。(40代・特別支援学校教員)

初めてブレイクアウトルームで話をするときは、見知らない人だったので勇気が必要だった。でも、話をしてみると共感できる部分があり、対面で話をするのと同じだと思えた。(30代・児童放課後等デイサービス事業所職員)

成果

□研修コアカリをベースとした福祉部局との連携による支援人材の育成

- －他機関との連携の拡大・深化
- －「教育」と「福祉」の合同研修の実施 「C:家族支援」
- －徳島県内完結でコアカリキュラムベースの研修会を実施

□Withコロナ時代を踏まえた研修のオンライン化

- －研修のオンライン化ノウハウの蓄積
- －研修コンテンツの獲得と他の研修での活用

今後の課題

□研修コアカリの「共通」部分について、さらなる研修企画を推進

- －「B:指導・支援」について、講座の維持・発展（中～上級）
- －研修コアカリをベースとして福祉部局とのタイアップをさらに深化させる必要性

□修了者とのつながりの継続

- －研修修了者に対する「継続講座」の開催／事例検討会の開催
→【D地域連携・協働】につながる多職種連携へ
- －「教育」と「福祉」をつなぐ研修の企画（オンライン事例検討会）